

# NEWS LETTER

---

2021年11月29日

一般財団法人岩手経済研究所

## いわて景気ウォッチャー調査 -2021年10月調査- について

一般財団法人岩手経済研究所（理事長：高橋真裕）は、定例の「いわて景気ウォッチャー調査-2021年10月調査-」を実施しました。

本調査の概要は以下のとおりです。

**現状判断** 53.5

（前回（2021年7月）調査比8.0ポイント上昇）

**先行き** 57.8

（同5.6ポイント上昇）

本調査の内容は別紙「いわて景気ウォッチャー調査結果 -2021年10月調査-」のとおりです。また、詳しくは11月30日発行の当研究所機関誌「岩手経済研究2021年12月号（No.469）」にも掲載いたします。

2021年11月29日

いわて景気ウォッチャー調査  
－2021年10月調査－

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号  
岩手銀行中ノ橋支店3階  
一般財団法人 岩手経済研究所  
理事長 高橋 真裕  
(担当 地域経済調査部 高橋 宏輔)  
TEL 019-622-1212

## ＜ 調 査 要 領 ＞

### 1. 調査内容

- (1) 景気の現状に対する判断
- (2) (1) の理由および具体的状況の説明
- (3) 景気の先行きに対する判断
- (4) (3) の理由

※ (1)、(3) は5段階評価による回答とする。

### 2. 調査時期

2021年10月

### 3. 調査対象者・方法

県内の景気の動きを観察できる立場の方々113名への郵送、電話による聴取（内容は下表のとおり）。

分野	調査対象者数	調査対象者の代表的な業種
家計動向関連	79名	-
小売関連	31名	百貨店、スーパー、コンビニ、一般小売店、自動車販売など
飲食関連	19名	飲食店、割烹・料理店、スナック、外食チェーンなど
サービス関連	21名	ホテル・旅館、クリーニング店、ガソリンスタンド、タクシーなど
住宅関連	8名	建設設計事務所、不動産販売、住宅販売など
企業動向関連	25名	製造業、広告代理店、運輸業、農林水産業など
雇用関連	9名	人材派遣、学校就業関係者、求人広告など

地域	調査対象者数	市 町 村
県央地域	40名	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町
県南地域	45名	花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町
沿岸地域	19名	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村
県北地域	9名	久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町

### 4. 回答状況

有効回答数 100件

回収率 88.5%

### 5. 指数（D I 値）の算出方法

5段階の判断に、それぞれ下表のとおり点数を与え、これらに各判断の構成比（%）を乗じてD I 値（Diffusion Index）を算出する。D I 値は50を目安としており、50を上回っていれば景気の上昇局面、下回っていれば下降局面と判断する。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+ 1.00	+ 0.75	+ 0.50	+ 0.25	0.00

## < 調査結果の要約 >

### 景況判断は現状、先行きともに50を上回る

#### 1. 現状判断 ～4期ぶりに50を上回る～

県内の景気の現状判断指数は、53.5と前回(45.5)に比べ8.0ポイント上昇し、景況感の分かれ目とされる50を4期ぶりに上回った。本県の新型コロナウイルスの新規陽性者数が著しく減少したことなどをを受けて家計動向関連で判断指数が上昇したほか、企業動向関連と雇用関連も同様の動きとなった(図表1)。

回答構成比は「良くなっている」「やや良くなっている」が37.0%(前回22.8%)と増加した。一方、「変わらない」は43.0%(同43.6%)、「やや悪くなっている」「悪くなっている」が20.0%(同33.7%)と減少した(図表2)。

分野別では、家計動向関連指数が53.6(同45.2)、企業動向関連指数が52.3(同44.8)、雇用関連指数は55.6(同50.0)となった。

家計動向関連では、同ウイルスの感染が収束傾向となったことによる好影響を示す回答があったほか、企業動向関連でも業況の改善を実感する回答がみられた。また、雇用関連においても企業の採用意欲の高まりを指摘する声があった。

地域別では、県央地域が55.4(前回41.9)、県南地域が54.1(同44.2)、沿岸地域が45.8(同55.9)、県北地域が59.4(同46.9)となった(図表5)。

#### 2. 先行き見通し ～先行き判断は調査開始以来最高を記録～

2～3カ月前の県内の景気の先行き判断指数は、57.8と前回(52.2)に比べ5.6ポイント上昇し2期連続で50を上回った(図表3)。また、判断指数は2009年10月の調査開始以来最高となった。

回答構成比は「変わらない」が30.0%(前回54.5%)と減少した一方、「良くなる」「やや良くなる」が49.0%(前回27.7%)、「やや悪くなる」「悪くなる」も21.0%(同17.8%)と増加した(図表4)。

分野別では、家計動向関連指数が54.7(同54.4)、企業動向関連指数は62.5(同44.8)、雇用関連指数は69.4(同55.6)となった。

原油高を背景とした消費意欲の減退を危惧する声がある一方、経済活動の活発化に期待を寄せる声のほか、政府による消費拡大に向けた取組みの波及効果を見込む声も聞かれた。

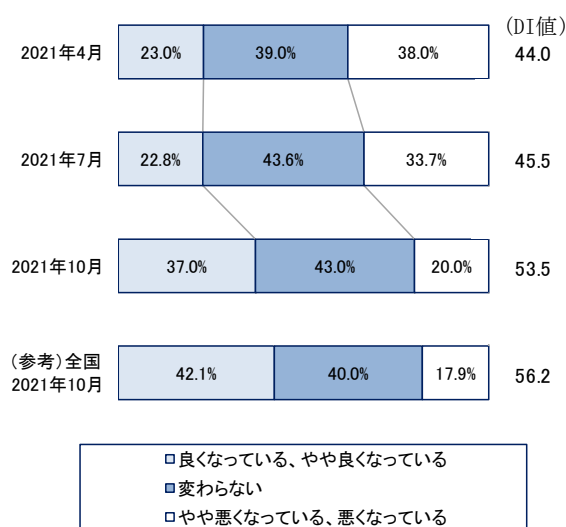
地域別では、県央地域が60.8(前回50.7)、県南地域が58.8(同55.1)、沿岸地域が47.2(同48.5)、県北地域が62.5(同53.1)となった(図表5)。

(ウォッチャーのコメントは後掲の【景気ウォッチャーの主なコメント】を参照ください。)

図表 1 景気の現状判断指数(DI)の内訳

分野	2021年 4月	2021年 7月	2021年 10月	増減
合計	44.0	45.5	53.5	8.0
家計動向関連	40.6	45.2	53.6	8.4
小売関連	41.1	41.7	52.7	11.0
飲食関連	41.7	45.0	53.6	8.6
サービス関連	34.7	44.4	52.6	8.2
住宅関連	50.0	59.4	59.4	0.0
企業動向関連	51.1	44.8	52.3	7.5
雇用関連	52.8	50.0	55.6	5.6

図表 2 回答構成比(現状判断)

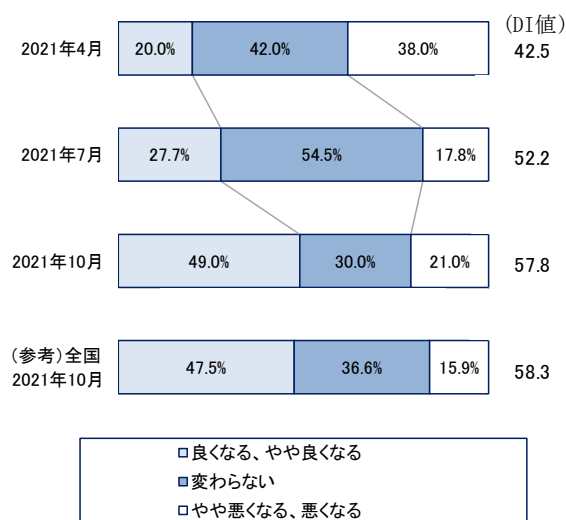


(注)単位未満四捨五入につき合計が100%とならない場合がある

図表 3 景気の先行き判断指数(DI)の内訳

分野	2021年 4月	2021年 7月	2021年 10月	増減
合計	42.5	52.2	57.8	5.6
家計動向関連	39.9	54.4	54.7	0.3
小売関連	38.4	52.8	58.0	5.2
飲食関連	35.0	58.3	60.7	2.4
サービス関連	41.7	52.8	46.1	△ 6.7
住宅関連	50.0	56.3	53.1	△ 3.2
企業動向関連	51.1	44.8	62.5	17.7
雇用関連	41.7	55.6	69.4	13.8

図表 4 回答構成比(先行き見通し)



(注)単位未満四捨五入につき合計が100%とならない場合がある

図表 5 地域別の景気判断指数

地域	景気の現状判断指数(DI)				景気の先行き判断指数(DI)			
	2021年 4月	2021年 7月	2021年 10月	増減	2021年 4月	2021年 7月	2021年 10月	増減
合計	44.0	45.5	53.5	8.0	42.5	52.2	57.8	5.6
県央地域	48.5	41.9	55.4	13.5	44.1	50.7	60.8	10.1
県南地域	42.7	44.2	54.1	9.9	40.9	55.1	58.8	3.7
沿岸地域	36.1	55.9	45.8	△ 10.1	45.8	48.5	47.2	△ 1.3
県北地域	50.0	46.9	59.4	12.5	35.7	53.1	62.5	9.4

【景気ウォッチャーの主なコメント】

	分野	判断	判断の理由
現 状	家計 動向 関連	良	賃貸物件のほか土地や中古住宅に関する問い合わせが増えた。 (県南：不動産取引業)
		やや良	新型コロナウイルスの新規陽性者数が減少したことなどによって人の流れが活発となり、売上げが若干増加した。(県央：観光事業)
		やや良	冠婚葬祭において会食を実施するケースが増えており、これに伴って貸し切りバスの需要が高まった。(県北：タクシー業)
		やや良	岩手県独自の緊急事態宣言解除に加え、Go To Eat キャンペーン第2弾の販売再開などにより経済が少しずつ動き始めてきた。(県南：商店街組合)
		不変	緊急事態宣言が解除されたものの高齢者を中心に慎重な行動が続いており、思ったように来客数が増えなかった。(沿岸：各種商品小売業)
		不変	ワクチン接種が進むにつれて様々な制約が緩和されているとの報道を見聞きするものの、その効果は実感できておらず、同ウイルスによる経済の停滞がまだ続いていると感じる。(県央：百貨店)
		やや悪	同ウイルスの影響で消費者の外出頻度が低いままであり来店数は減少しているほか、競合他社の安売りと燃料の仕入価格高騰が要因となり粗利にも影響が出ている。(沿岸：ガソリンスタンド)
		やや悪	たばこの増税を受けて禁煙した客が一定数いるとみられ、売上げは減少した。 (県南：コンビニエンスストア)
	企業 動向 関連	良	得意先であるホテルや旅館からの受注が増加し、売上げが大きく伸長した。 (県南：惣菜製造業)
		不変	受注した案件の施工を継続しており、繁忙が続いている。(県央：建設業)
	雇用 関連	やや良	広告の掲載数、金額ともに増加している。(県央：新聞求人広告)
		不変	求人は好調な状態が続いている。(沿岸：学校就業担当)
先 行 き	家計 動向 関連	やや良	近隣で新たな工場の建設が予定されているほか、イベントの開催など外出の機会も増えるとみられ、売上げの増加を見込んでいる。(県南：コンビニエンスストア)
		やや良	ワクチンの接種率が上昇して県内の新規陽性者数が少ない状態が続くとみられることから、忘・新年会などの需要が高まると見込んでいる。(県北：飲食業)
		やや良	自治体職員に対して外食が推奨されるようになり、タクシーの需要も拡大することが見込まれる。(県央：タクシー業)
		不変	修学旅行のほか宴会による売上げの増加を期待しているが、回復の度合いなど先行きが見通しづらい。(県南：観光事業)
		不変	資材などの価格が上昇しているものの、現状から特に変化はないとみている。 (県央：建築工事業)
		やや悪	沿岸地域において復興事業関連の工事が減少しており、景気に弱さを感じる。 (沿岸：自動車整備販売業)
		やや悪	輸入資材だけでなく県産材の価格も上がっており、ウッドショックの影響が顕在化してくる可能性が高い。(県南：建築工事業)
		悪	灯油の仕入価格がかつてない程に高騰しており、販売価格を値上げせざるを得ない状況にあるほか、食料品などの価格の上昇に伴い消費者の節約傾向が鮮明になっていることも相俟って売上げの落ち込みが予想される。(県央：燃料小売業)
	企業 動向 関連	やや良	原料価格の上昇を受けて今後2～3カ月で製品の値上げを検討しており、また、取引先企業からの受注も増えると見込んでいることから業績は上向くものと予想する。(県央：電子部品製造業)
		やや良	同ウイルスの感染が収束の方向に進んでおり、ホテルやレストラン、旅館などに向けた商品の売上げが回復すると見込んでいる。(県南：肉加工品製造業)
	雇用 関連	やや良	Go To トラベル事業の再開が検討されており、同事業に関連する企業の採用意欲に対してプラスの効果が期待される。(県央：学校就業担当)
		不変	通年採用の企業のほか、再募集を行う企業の数にも大きな変動はないと予想している。(沿岸：学校就業担当)